

地震後のはげまし

星野 香奈

「ゴオーゴオー」その時おこった中越大震  
災。私は、にしきごいをかうための池の水が  
流れてきたのに気づいた。「ゴオーゴオー」  
すごい勢いだっただ。その水に私は流されてい  
くかもしれないと思っってしまった。その水が  
流れ終わるまで、待っていた時、とても寒か  
った。けど、周りにいた人が、服をかしくてく

山古志小学校

水たり、食べ物くれたりしてとても水しか  
った。しかし、それでもぬる場所があまりな  
くてつらかった。友達がみんな無事かどうか  
気になってどうしようもなかった。心配だっ  
た。

山古志小学校は、もう使えない状態になっ  
ていた。その替わりに阪之上小学校で勉強す  
ることになった。どんな学校だろう。どんな  
子がいるんだろう。と楽しみと不安があった。  
阪之上小学校に初めて入った時、阪之上の子

が歌を歌ってくれた。山古志のみんなはうれ  
 しそうな顔で聞いていた。私もうれしかった。  
 安バした。何か月かすぎて、他の県の人から  
 の「手紙やテープ」などが届いた。みんな笑  
 顔で、聞いたたり読んだりしていた。私は、こ  
 んないいい人がいてうれしいと思った。やさし  
 いなと思った。他にも、あやわさ学校に来て  
 くれて物資などをくれた人もいた。交流など  
 もしたりした。みんながはげましてくれたこ  
 とでとてもとてもうれしかった。

山古志小学校

そのみんなのはげましのおかげで、今は、  
 かんばるぞーという気持ちになったり、毎日、  
 元気よく学校にいけたりできた。  
 地震があつてこわさ、つらさが最初は、あ  
 ったけれど、みんなのはげましの「手紙やテ  
 ープで山古志をもとにもどしたいと思えた。  
 みんなありがとう。